第1号様式(第6条関係)

　　年　　月　　日

（宛先）寒川町長

住　所

申請者

氏　名

寒川町結婚新生活支援事業費補助金交付申請書

寒川町結婚新生活支援事業費補助金交付要綱第6条の規定に基づき、寒川町結婚新生活支援事業費補助金について、交付を受けたいので関係書類を添えて申請いたします。

申請額　　　　　　　　円

１　申請者等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 生年月日（婚姻時の年齢） |
| 申請者１ | ﾌﾘｶﾞﾅ | 年　　月　　日（　　歳） |
|  |
| 住所 | 電話番号 |
|  |  |
| 町内の住宅で居住を開始した日 | 所得額※１ |
| 年　　　　月　　　　日 | 円 |
| 申請者２ | 氏名 | 生年月日（婚姻時の年齢） |
| ﾌﾘｶﾞﾅ | 年　　月　　日（　　歳） |
|  |
| 住所 | 電話番号 |
| □上に同じ |  |
| 町内の住宅で居住を開始した日 | 所得額※１ |
| 年　　　　月　　　　日 | 円 |
| 婚姻届受理日 | 年　　　　月　　　　日 |  |

※１　貸与型奨学金を返済した場合は、その金額を控除した額を記載してください。

２　申請額

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 住居費 | A　支払金額 | 円 |
| 契約締結日 | 年　　　月　　　日 |
| リフォーム費 | B　支払金額 | 円 |
| 契約締結日 | 年　　　月　　　日 |
| 引越費用 | C　費用 | 円 |
| 引越日 | 年　　　月　　　日 |
| 合　計（A＋B＋C） | | 円 |
| 申請額※２ | | 円 |

※２　申請額は、合計又は30万円（夫婦共に婚姻日における年齢が29歳以下である場合は60万円）を比較して少ない方を記入（1,000円未満切捨て）。ただし、引越費用を対象とした申請については、5万円を上限とする。

３　振込先

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 振込先 | 金融機関名 | 銀行・金庫  　　　　　　　　組合・農協 | | 支店名 | 本店  支店 |
| 預金種別 | 普通・当座 | 口座番号 |  | |
| 口座名義 | (ﾌﾘｶﾞﾅ) | | | |
|  | | | |

４　同意及び確認事項

|  |  |
| --- | --- |
| □私（申請者１と申請者２をいう。以下同じ。）は、この補助金申請の事務処理に必要な範囲において、町長が私の戸籍（婚姻届を含む。）、住民票、所得額及び町税等の納付状況を確認することに同意します。  □私は、寒川町結婚新生活支援事業費補助金の申請日から3年以上継続して寒川町内に居住する意思があります。（第3条第3号関係）  □私は、過去に「地域少子化対策重点推進交付金」による結婚新生活支援事業に係る補助を受給したことはありません（他の自治体での受給を含む。）。（第3条第4号関係）  □私は、寒川町暴力団排除条例に規定する暴力団員又は暴力団員等ではありません。（第3条第5号関係）  □私は、町税等の滞納はありません。（第3条第6号関係）  □私は、生活保護による住宅扶助その他公的制度による補助を受けていません。（第3条第7号及び第9号関係）  □私は、補助対象経費に対して、他の補助を受けていません。  □私は、善意、悪意を問わず申請内容に虚偽があった場合には、補助金の全部又は一部を返還します。  □私は、本申請に関して町長から報告を求められた場合には、これに協力します。  申請者1氏名　　　　　　　　（旧姓　　　）　申請者2氏名　　　　　　　　（旧姓　　　） | |
| 添付書類 | □婚姻届受理証明書、戸籍謄本等の婚姻の事実が分かるもの  □申請の日の属する年度の前年度の新婚夫婦の所得証明書  □住宅の売買契約書、住宅の引き渡し証明書及び領収書の写し（住居費の補助を受ける場合）  □住宅リフォームの請負契約書及びその支払いを証する領収書等の写し（リフォーム費の補助を受ける場合）  □住居費又はリフォーム費に係る金融機関とのローン契約書、返済を証する書類の写し  □引越費用に係る領収書の写し（引越費用の補助を受ける場合）  □貸与型奨学金の返済額が分かる書類の写し（現に貸与型奨学金の返済を行っている者に限る。）  □口座が確認できるもの（預金通帳又はキャッシュカード）の写し  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |